

## 国道4号高倉杉下交差点改良 整備効果について

～事故リスクが軽減し、安全性・快適性が向上～

郡山市の北部に位置する国道4号「高倉杉下交差点」における右折レーン延伸等の事故対策が令和3年9月に完成・供用してから1年が経過し、整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

### ■対策概要

国道4号「高倉杉下交差点」は、右折・左折待ちの車両が後続直進車を阻害することによる追突事故が多発していました。

そこで、「交通事故の削減」を目的として、右折レーン延伸や左折レーン新設、注意喚起を促す路面標示設置の対策工事を行い、令和3年9月に完成しました。

### ■整備効果

対策により、事故や事故リスクが低減しました。

1. 死傷事故件数が約1/3に減少。
2. 急ブレーキ発生割合が約半数に減少。
3. 後続直進車両の急な車線変更等の危険挙動が減少。

郡山国道事務所ホームページにて、高倉杉下交差点で実施した対策内容の紹介動画も公開しますので、そちらについても是非ご覧ください。

<https://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/road/seibikouka/index.html>

※記者発表会：郡山記者クラブ、会津若松市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所

TEL：024-946-0333（代表）

副所長（管理） 佐藤 幸喜（内線205）

交通対策課長 鈴木 誠（内線471）

# 国道4号 高倉杉下交差点改良

- ①対策により、事故や事故リスクが低減
- ②道路利用者が安全性・快適性の向上を実感

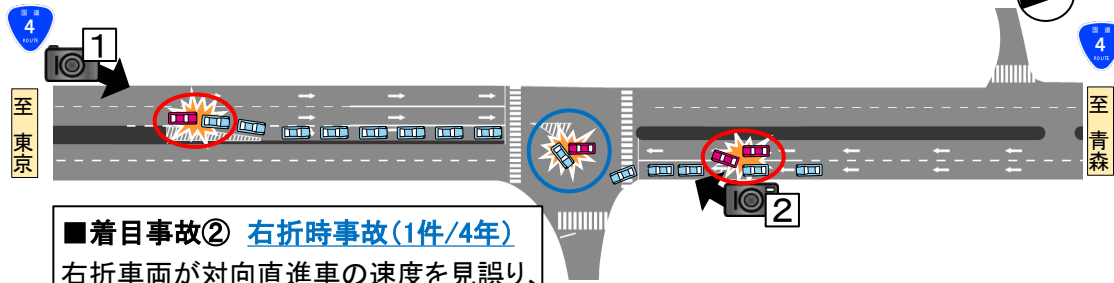
## 【位置図】



## 対策前の課題

### 対策前 ■右折・左折待ちの車両による追突事故が多発

■着目事故① **追突事故(10件/4年)**  
右折・左折待ちの車両が後続直進車を阻害することで追突事故が発生



■着目事故② **右折時事故(1件/4年)**  
右折車両が対向直進車の速度を見誤り、右折時事故が発生

※出典: イタルダ事故データ(対策前:H22~H25)



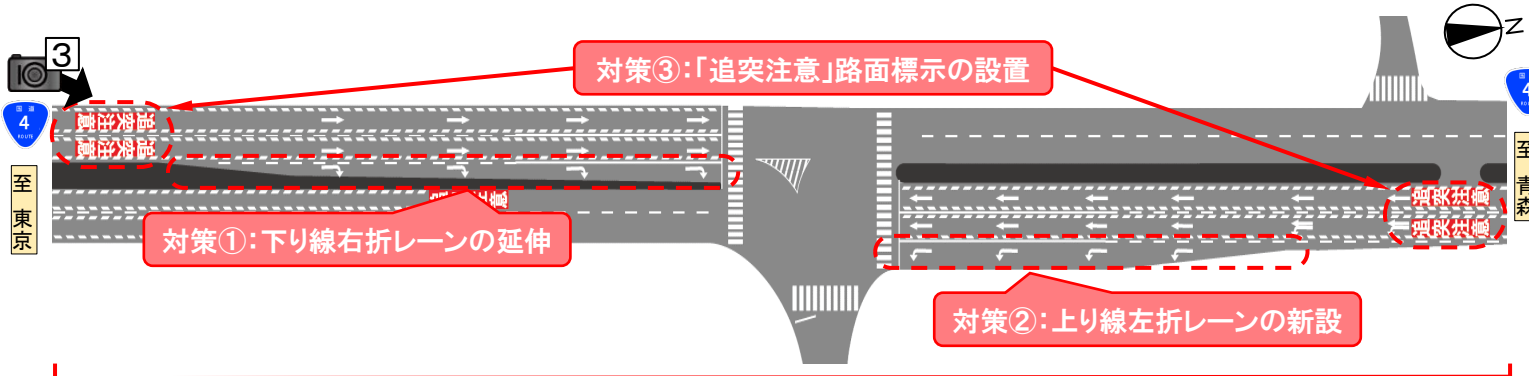
写真1 右折車が直進車を阻害



写真2 左折車が直進車を阻害

## 対策内容

### 対策後 ■令和3年9月に完成・供用



右折レーンの延伸により、右折待ちの滞留による後続直進車の阻害が解消

# 整備効果

## ①事故データによる評価

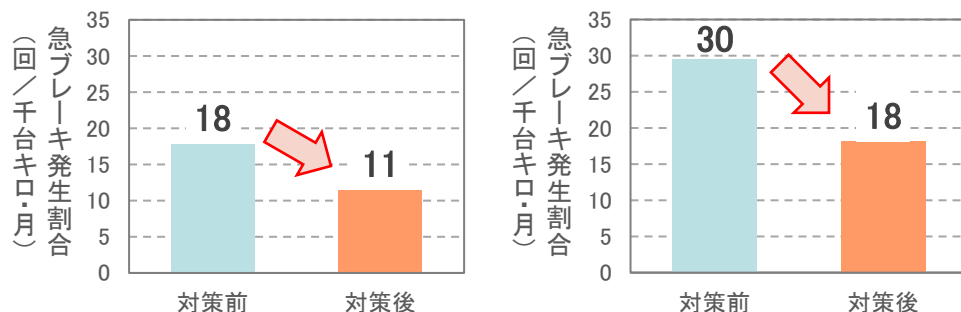
■対策により事故が減少、事故の削減効果を確認



※出典：イタルダ事故データ(対策前：H22～H25)、事故速報データ(対策後：R3.10月～R4.9月)

## ②潜在的な事故リスクによる評価

■対策区間全体の急ブレーキ発生割合が減少し、事故リスクが低減



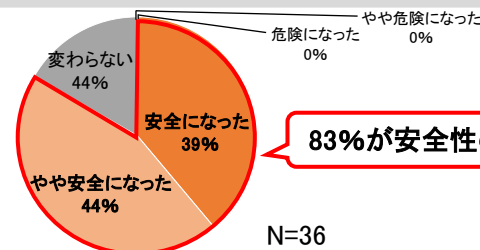
※出典：ETC2.0データ(対策前：H30.10月、対策後：R4.10月)、前後加速度-0.3G以下のデータを抽出

## ④ヒアリング調査による評価

■周辺事業者が安全性・快適性の向上を実感

- 対策により、**交差点手前**で急な車線変更を行う車両が減少し、安全になりました。
- また、直進車線にまで伸びていた右左折待ち車両の滞留がなくなり、**直進通過時**も**快適に通行**できるようになりました。

▲周辺事業者の声



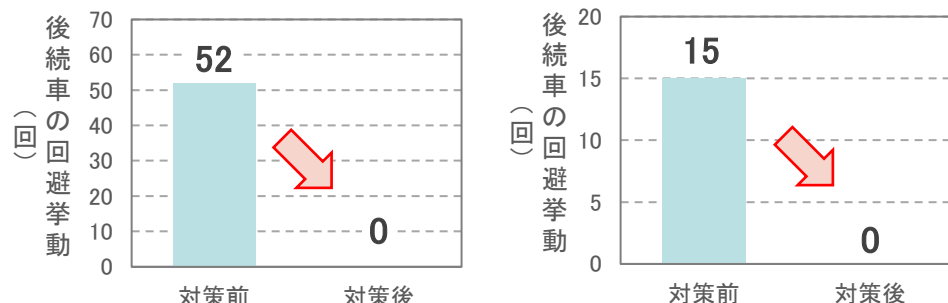
83%が安全性の向上を実感

N=36

▲対策による安全性の変化 ※出典：事業者ヒアリング調査(R3.10月)

## ③交通挙動による評価

■上下線とも右左折滞留車両に起因する後続直進車の**危険挙動**が解消

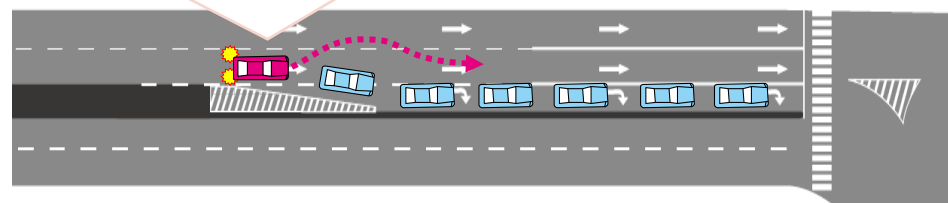


▲下り線後続車の回避挙動

▲上り線後続車の回避挙動



右左折滞留車両に対して、後続直進車が「停止」「急な車線変更」「減速」で回避するような挙動 ⇒ 危険挙動として観測



▲後続車の回避挙動 計測イメージ

※出典：交通挙動調査(対策前：H28.9月、対策後：R3.10月 計測時間は7:00～11:00の計4時間)

## 今後の展開

引き続き、事故データやETC2.0データ等の蓄積により、対策効果の確認を行います。